

スズメバチにご注意ください

9月から11月は、ハチが攻撃的になる危険な時期です。特に今年は、夏に雨が少なかったため、スズメバチが大量に発生しています。市内でもスズメバチに刺される被害が発生していますので、ご注意ください。

スズメバチってどんなハチ？

日本には3属16種のスズメバチが生息しています。

スズメバチは巣を作って集団生活をするハチです。木の枝、軒下などのほか、緑の下や地中などに巣を作るものもいます。

まず、越冬を終えた女王バチが、春から夏にかけて巣作り・産卵をします。そして、夏から秋にかけて働きバチが羽化し、巣作りや幼虫の餌をとるために活発に活動します。人間を襲うのは、この働きバチです。

秋になると、新女王バチの幼虫が誕生します。働きバチはこれを育て、守るために働きます。この役目を終えるころ巣の中は空になります。

新女王バチは羽化した後、春の巣作りに備えるために巣を離れ、朽木や土

の中で越冬します。巣は翌年に再利用されることはありません。

スズメバチはなぜ刺すの？

ハチの仲間のうち、人間を攻撃するのは、巣を作って集団生活をするスズメバチやアシナガバチ、ミツバチの間だけです。

集団生活をするハチは、自分たちの巣を外敵から守るために攻撃します。中でもスズメバチは警戒心が強く、攻撃性も高いので注意が必要です。

スズメバチはおしり(腹部)の先にある針で外敵を刺し、強い毒液をその体内に注入します。人間が刺されると、この毒による急性アレルギー反応が起こり、死亡することもあります。

秋は新女王バチが誕生する季節です。働きバチはこれを守るため、より攻撃性を高めています。巣を見つけても絶対に近づかないようにしましょう。



スズメバチの中で最も大型で攻撃性の高いオオスズメバチ



タケに作られたコガタスズメバチの巣。独特な波模様が見られる

スズメバチに刺されないために次の点に注意しましょう！

- 白っぽい服装を心がける
- 整髪料・香水など、においの強いものは避ける
- スズメバチに遭遇したら、後ろにゆっくり下がりながら逃げる
- 手やタオルで払わずに、身を低くしてやり過ごす

刺されてしまったら

スズメバチに刺されたら、以下の応急処置をして、すぐに医療機関で受診しましょう。

- 市販の吸い出し器や手でつまみ、ハチの毒を絞り出す
- ※口で吸い出すのは、毒を直接吸ってしまうため危険です。
- 患部を水で洗う(毒素を洗い流し、患部を冷やすため)
- ※アンモニア水がよいというのは迷信で、効果がありません。

ハチの巣を見つけたら

スズメバチの巣は、保温や外敵の侵入を防ぐため、外被で覆われています。巣の出入り口は外被に空いた穴1つで、ここがほかのハチの巣とは異なります。スズメバチに刺されないために最も効果的なことは、とにかく巣に近づかないことです。ハチの巣を見つけたら、無理に駆除しようとせずに、専門の業者などに任せましょう。

市内のハチの巣駆除業者

○近代ビル管理社

☎0120(095)444

○ナガオカサニタリ

☎(22)4614

※ご家庭の敷地内のハチの巣の駆除を依頼した場合、費用がかかります。

くわしくは

生活安全課 ☎(21)5151